

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

地球温暖化の影響等で災害が頻発し、台風、豪雨、地震災害に耐える屋根づくりが必要で、課題に即応できる若手技能士の確保と育成を進めていくと同時に廃瓦のリサイクルを促進する。また、天候不順や寒暖に左右されない働く現場を実現し技能労働者の処遇改善・地位向上を図り、創業90年の歴史も踏まえ日本の瓦文化と技術を次世代へ継承し、新時代の景観とやすらぎの住空間づくりを実現する九州を代表する地域ナンバーワン、優良事業所を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に ◎)	SDGsに関する重点的な取組み	指標
○環境 ◎社会 ◎経済	台風、豪雨、地震災害に耐える安全安心な屋根づくりの促進（屋根診断技士の育成・確保）	2020年1人 →2023年3人
◎環境 ◎社会 ◎経済	働き方改革：四季や天候に左右されない現場環境の改善（全天候型屋根カバーテントの導入）	2020年未実施 →2023年全面導入・展開
○環境 ◎社会 ◎経済	現場で排出される廃瓦のリサイクル（路盤材等）の促進	2020年50% →2023年75%

<パートナーシップ>

災害が頻発する時代環境の中にあって、これまで以上に瓦製造メーカー、資材納入業者、国・県の連盟、組合、住宅、建設事業者、行政等とも連携を深めていくとともに、従業員の資質の向上と働く現場環境の改善も図り、一致団結して新時代の住空間づくりに貢献していく。